
Can you Mystery

繭詰雨雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Can you Mystery

【Zマーク】

Z8915C

【作者名】

繭詰雨雲

【あらすじ】

変な人、奇妙な出来事に巻き込まれる日常。迷惑だけど、暇じゃないと思いませんか？

無名・〇（前書き）

場合によってはエログロなネタが出てくるかも知れません。
まだ分かりませんけどね。

無名 - 0

名前：**喜屋武優**

性別：男

職業：現在二ートを満喫中

長所：周りの目を気にしない

短所：自分勝手

特技：無意識のうちに“変な人”を集める、頻繁に“奇妙な出来事”に巻き込まれる

喜屋武優の人生は奇想天外摩訶不思議。

これはそんな優の人生の、ほんの切れ端のよつた話。

無名・○（後書き）

三日坊主も程々にして、みなさまの『暇つぶし』程度にはなれるよう
うに続けていこうと思います（笑）

不死の病・1

「あの、私を殺してもうえませんか?」
変なヤツに声をかけられるのは慣れていた。

正直またかと思った。

多分殴っていた。そこが渋谷の大通りじゃなければ。

その日、ニーート満喫中の俺は渋谷をぶらついていた。
大通りを抜けようとしたそのときだ。

背後から肩をつかまれ、誰かが耳元でささやいた。

「突然すみません。少しお話を聞いて頂けないでしょうか?」

「アンケート?」

「いや・・・あの、私を殺してもうえませんか?」

俺は後ろを振り向いた。そこに立っていたのは50歳くらいの男性
だ。

「いやいや。そんなことしたら俺捕まつかけやつじやん。」

「お願いです、あの、お話だけでも・・・」

全く、いい加減にしてくれよ・・・

「私、死ねないんです。」

流石にここまで変わった方は初めてだ。

「え、意味が分かんないんですけど?」
つてか変わつてるというか変だ。

「ええ、ですからお話だけでも・・・」

「いやいや、明らか怪しいから。」

「お茶ぐらいなら出しますんで。」

「お茶つて・・・」

「和菓子もつけましょ。」

・・・和菓子か、きわどいな。

「ダメ、ですよね・・・?」

「あぢうせひだじ、少しくらいなりいか。

「ふう・・・じや話べらこならこことよ。」

全く、暇つてのまーいねえ。

「本当ですか?信じてもらえたんですね!」

え、何?俺はもう協力することになつてんの?

「い、いや・・・そうこいつわけじゅ・・・」

「ありがとうございます!」

「誰がそんなこと言つ・・・ひょ、頭上ばらつて!みんな見てるか

「ひー」

・・・クソめさぢうことになつたなあ・・・

不死の病・1（後書き）

んー、暇つぶしには程遠いですねえ。

まあまだ完全に本編に入ったわけじゃないですしね（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8915c/>

Can you Mystery

2011年1月9日03時39分発行